


立ち読みPDF

鵜沢戸久子著 Tokiko Uzawa

日本人の小学生に100%
英語をマスターさせる法

Forest
2545
Shinsho

 **英語は100%マスターできる!**

小学生のころのこと。

歴史の教科書で「ポルトガルから種子島に鉄砲伝来」という記述を読み、私はひどく悩んだ経験があります。

ポルトガル語なんて誰も分からないはずなのに、どうして鉄砲が伝来するの？
そして、悩みぬいた末に達した結論は、「誰かに教えてもらわなくても、どうやら外国語というのは自然に分かるものだ」ということでした。

小さいころから体が弱かった私は学校も休みがちで、1人で勉強することが多かったのですが、それでも勉強で遅れをとることはありませんでした。

人間は人から教えてもらわなくても、環境の中から自然に分かることがたくさんある。考えると、答えは浮かんでくる。

この考え方が、私の「英語教育」の原点になります。

あれから数十年。

私は「小・中・高校生の英語教室」を開き、約40年にわたって英語指導を続けてきました。

私の英語教室には連日のように、英語習得に悩む親御さんや子供たちが駆け込んできます。

「先生、どうしたらウチの子は、英語ができるようになるんでしょうか？」

そこで、私は子供に聞きます。

「どうしたら、英語ができるようになると思う？」

すると、子供は素直に答えます。

「習っていないことはできないよ。習えばできるようになるんじゃない？」

そこで、私は言います。

「習わなくても、外国語だって人間の言葉なんだから、分かるよ。昔、日本に鉄

砲が伝来したとき、誰もポルトガル語なんて分からなかったはずでしょ？」

そして続けます。

「もし人間が教えられたことしか分からなかったら、今ごろサルのままでしょう？
教えられていないことが分かったから、前の人より進歩して現在の人間がある。
考えないと、サルになっちゃうよ」

はつきり言つて、今の日本の英語教育のレベルは最低です。

子供に英語をマスターさせたい一心で、胎教と称してお腹にいるときから英語を聞かせたり、生まれて間もない、まだ日本語もおぼつかない時期から、英語を勉強させたりしています。

また、一方では「英語をマスターさせるためには、日本語を使つてはダメだ」などと言つて、日本人であるにもかかわらず、日本語をいっさい使わずに英語をマスターさせたりしようとしています。

はたして、これが自然な形と言えるのでしょうか？

日本人として生まれたのならば、まず母語としての日本語をしっかりとマスターさせるべきです。

そして、日本語を基盤にして英語を学ばせていく。

これが、自然な形ではないでしょうか？

親の無茶な教育によつて、日本語も英語もおぼつかない。

私はそんな子供たちを、今までにたくさん見てきました。

「すべての外国語、あるいは第2言語は、人間が初めに獲得する言語、母語のレベル領域を超えない」という通説がありますが、私もそのとおりだと思います。

人間の脳は基本的に怠け者ですから、何かを習得させようと思えば、ある程度の強制は必要でしょう。

しかし、問題なのは、親が強制をすると、子供は逃げ場がないということ。

何でもかんでも一方的に押しつけるのではなく、もう少し子供の自主性を重んじてみてはいかがでしょうか？

自ら考える力、積極的に学ぶ心を育てあげれば、子供は英語なんて簡単にマ

スターしてしまいます。

そのことを、私は40年かけて証明してきました。

「子供が英語ができない」というのは子供だけの問題ではなく、実は親であるあなたの問題でもあるのです。



どうすれば子供に英語をマスターさせることができるのか？

では、どうすれば母語である日本語を基盤にして、英語をマスターさせることができるのでしょうか？

脳科学者たちは言います。

「人間は生まれたときに、すべての環境に順応できるように、非常にたくさんのニューロン（神経細胞）を持って生まれる。しかし、生まれ落ちた環境にとって必要でないと分かると、それらのニューロンは死んでいく」

これは、言語に関しても同じこと。

人間は生まれたときには、すべての言語に反応しますが、すぐに母語（日本語）にしか反応しなくなってしまうのだそうです。

不要なものは消えるという法則に従って、使われない言語用のニューロンは衰えてしまう。

だから、日本人はなかなか英語をマスターすることができません。

日本語を母語とする日本人が英語をマスターするためには、日本語のニューロンとは別に、「英語のニューロン」を生かし続けなければならないのです。

では、英語のニューロンを生かし続けるためには、いったいどうすればいいのでしょうか？

本書では、その具体的な方法を示していきたいと思えます。

 **脳科学に基づき、自然な形でマスターさせる！**

実は、英語のニューロンそのものだけでは役に立ちません。

このニューロン同士をつなげて、いかに「英語の回路」を作っていくか？
これが大切です。

私が主宰するウザワシステム教育研究所（以下、ウザワ）では、英語のニューロンを回路にし、「英語回路」を使って高いレベルの英語を習得する方法を実践してきました。

脳科学に基づき、できるだけ自然な形で英語をマスターさせること。

こうした方針で作られた「ウザワ式英語習得法」は、主流の英語習得法とは、相容れない部分が少なくないかもしれません。

しかし、試行錯誤を重ねながら、着実に成功事例を積み上げてきました。

例えば、大学3年生のときに授業料などを全額支給されてアメリカの名門私立大学の1つである「ジョージタウン大学」に留学した元生徒さんがいます。

小学校4年生でウザワに入会したこの生徒さんは、帰国子女ではありません。

「ウザワ式英語習得法」で身につけたその英語力は、留学中に現地の企業にスカ

ウトされるほどレベルの高いものでした。

ジョージタウン大学で「成績優秀」との証明をもらって帰国した彼女は、現在外資系の金融会社に勤め活躍しています。

また、自動車メーカーに就職し、営業で好成績を上げた元生徒さんもいます。

「お得意様には外資系企業のトップクラスの人が多いいけれど、僕の英語が日本人にはめずらしく、とてもレベルの高い英語だと大変気に入られた。だから、車の詳細説明などしなくても、どんどん買ってもらうことができたんです」と話していました。

この他にも、「日本で勉強しただけなのに、どうしてこれほど高い英語力を身につけられるの？」と評価され、活躍しているウザワの卒業生がたくさんいます。

どうすれば、日本にいながらにして、国際社会で活躍できるほどの「使える英語力」を習得できるのか？

現在ウザワで学んでいる生徒、さらには、40年における指導の中ですでにウザワを巣立ったOBなどの実例を交えながら、解説していきましょう。

第1章は「英語ができる子供はどこが違うのか？」を分析し、「子供に英語をマスターさせるためにはいったい何が必要なのか？」を浮き彫りにしていきます。

第2章は「親の心がまえ7カ条」として、「英語ができる子供を育てるために親としてどのような心がまえを持つべきか？」について解説します。

子供の教育において、親の及ぼす影響は計りしれません。あなたがしっかりとした「心がまえ」を持つていなければ、子供に英語をマスターさせることはできないでしょう。

第3章では子供に英語をマスターさせるための「ウザワ式英語習得法」を解説します。40年間の英語指導で改良を重ねてきたメソッドは、あなたの自宅でも気軽に行っていただくことができます。

もちろん、教室に通っていたのが一番ですが、遠方にお住まいの方もたくさんいらつしやるでしょう。ぜひ、自宅で「ウザワ式英語習得法」を実践してみてください。

2011年度から、いよいよ日本全国の公立小学校において5、6年生を対象

にした英語の義務教育化がスタートします。

近い将来には、小学校1年生からの本格的な英語学習が導入されることになるでしょう。

また、ユニクロを展開するファーストリテイリングや、ネット通販大手の楽天が社内で英語を公用語化すると発表しました。

外資系の企業に勤めていなくても、「英語はできて当然」の時代になっているのです。

もはや、あなたの子供は「英語ができない…」では済まされません。

本書は40年にわたる英語指導における、現時点での集大成になります。

本書を通じて1人でも多くの親御さん、子供たちの「英語の悩み」を解消させることができれば、これほどうれしいことはありません。

ぜひ、最後までおつきあいください。

ウザワシステム教育研究所 鶴沢戸久子

はじめに

- 英語は100%マスターできる！—— 3
- どうすれば子供に英語をマスターさせることができるのか？—— 7
- 脳科学に基づき、自然な形でマスターさせる！—— 8

第1章 英語ができる子供はここが違う！

1. まず、子供の脳内に「英語回路」を立ち上げる！
 - 実例① 小学校2年生で英検5級に合格！—— 22
 - バイリンガルと同じ言語システムを構築する方法とは？—— 23
 - 1日たった15分の習慣で「英語回路」ができる！—— 24
 - 英語の音を長時間聞かせた方が効果的か？—— 26
2. 子供の脳に「英語回路」を立ち上げる方法①
 - 実例② 小学校3年生で英検4級に合格！—— 29
 - 「英語回路」が立ち上がると、驚異的なスピードで英語をマスターできる！—— 30

● 英語の音を流すときに、文字情報は必要か？—— 32

3. 子供の脳内に「英語回路」を立ち上げる方法②

● 実例③ 成績優秀、でも英語だけは苦手！—— 35

● 「英語回路」の立ち上げに必要な期間はどれくらい？—— 37

● 「英語回路」の立ち上げに効果的な教材とは？—— 39

4. 英語環境がゼロでも、バイリンガルのように育てられる！

● 実例④ 英語力を活かして難関大に合格し、大手新聞社に就職！—— 41

● 一度立ち上がった「英語回路」は一生使える！—— 43

5. 「国際舞台で通用する英語」を身につける！

● 実例⑤ 東大卒業後、語学力を活かして政府系金融機関に就職！—— 45

● 世界に通用する「英語」とは？—— 46

● 実例⑥ 語学研究の大家も驚く「英語力」を身につけた大学院生—— 48

● 日本人は「ネイティブスピーカー」になれるか？—— 51

● 世界に通用する「正しい英語」とは？—— 53

6. 「日本語」をおろそかにしない！

- 実例⑦ 小さいころから英語を学んでいるのにまったく身につかない！—— 57
- 英語力を身につけさせたかったら、「日本語」で話しかけなさい！—— 59

7. 「英会話」は勉強させない！

- 実例⑧ 英会話を勉強しなくても、海外でバッチリ通じた！—— 62
- 英会話の訓練をしなくても、英語は自然と話せるようになる！—— 65
- 英語のコミュニケーションで大切なこと—— 67
- ブロークンな英会話をさせてはいけない！—— 69

8. 英文法の70%を「音」でマスターさせる！

- 中学、高校で学ぶ「英文法」の役割とは？—— 71
- 英語の音から、約70%の英文法が学べる！—— 74

9. 適度に日本語を使って「英語」をマスターさせる！

- 日本語を使わずに英語をマスターさせることは可能か？—— 77
- 脳の性格を活かした「英語習得法」とは？—— 78

● 英語の内容がよりクリアになる！—— 80

10. 暗記した英語は、ドンドン忘れさせる！

● 全体の把握から、個々の知識を獲得させる！—— 82

● 「英語の聞き流し」から、次のステージへ！—— 83

● 英語の暗記をさらに強化させる方法—— 85

● 暗記したものは忘れてかまわない！—— 87

第2章 英語ができる子供を育てるための「親の7カ条」

【第1条】すぐに結果を求めない！

● 早く始めたからといって、有利になるとは限りません！—— 92

● 今できないことよりも、子供の可能性に目を向ける！—— 94

● 実例⑨ 目先の結果にとらわれると、子供が伸びなくなる！—— 96

【第2条】子供の「自立心」に任せて放っておく！

● 自立心がない子供の英語力は伸びない！—— 98

- 実例⑩ 過保護な親のもとでは、子供の学力は伸びない！—— 100
- 実例⑪ 部活動を続けながら、東大に現役合格！—— 102

【第3条】 あえて難しい教材を与える！

- 難しいものを与えて、「強い脳」を育てる！—— 105
- 分からないものを受け入れないと、脳が退化する！—— 107
- 子供の「知的興味」を刺激する勉強法とは？—— 109

【第4条】 子供と一緒に勉強しない！

- 親が介入すると、子供はシラけます！—— 112
- 分からないことは、子供に教えてもらいなさい！—— 113
- 知らず知らずのうちに「プレッシャー」を与えていませんか？—— 115

【第5条】 間違いをプラスとして評価する！

- 間違いを訂正するプロセスで、子供の脳は整理されます！—— 117
- 子供の脳を活性化させる「声のかけ方」とは？—— 119
- 間違えた事実はどうでもいい！—— 120

●まずは「できたこと」を認めてあげましょう！—— 122

【第6条】優先事項を明確にする！

- 大人になってからできることを、子供のうちにさせない！—— 124
- 実例⑫ いくら英単語を覚えても、英語は身につかない！—— 125
- 英語学習は長距離走！—— 128

【第7条】進行状況を確認しない！

- 「答えられない」≡「分かっていない」ではない！—— 130
- 「お釈迦様の手の中」で、のびのびと子供を育てなさい！—— 133

第3章 子供に英語をマスターさせる「ウザワ式英語習得法」

1. 小学生に与えるべき「英語教材」とは？

- どのような教材を選ぶべきか？—— 138
- 同世代のネイティブは、どんな本を読んでいるか？—— 140
- CD付きの絵本がベスト！—— 141

2. まず、**「英語の言語野」を意識させなさい!**

- 小学生に100%英語をマスターさせる「ウザワ式英語習得法」とは? — 144
- 「英語の言語野」は本当に存在するのか? — 146
- 「日本語の言語野」では、英語をマスターできない! — 149

3. 脳に**「英語の言語野」を作る方法**

- 英語の文字には、日本語の意識が張りついている! — 151
- 「英語の言語野」はどのようにしてできるのか? — 153
- 「言葉の臨界期」とは? — 154
- 英語の言語野を脳に作る「音のかけ流し」 — 156
- 「英語の言語野」を育てる「ツとは?」 — 157

4. **音読をさせなさい!**

- まず、テキストにカナをつける! — 160
- スピード、イントネーションを守らせる! — 164

5. 「足し算の訳」で英語の構造を理解させる!

- 子供に「英語の構造」を理解させるとっておきのメソッド! —— 166
- 日本語にならない単語、冠詞や代名詞の扱い方はどうするの? —— 169
- 前置詞、接続詞はどう扱うの? —— 170
- 日本語は大事なことを後回し! —— 173
- スカールの授業を実況中継! —— 174

6. 英文を暗記させる!

- いつ英文を暗記させればいいのか? —— 180
- ウザワ式「英文暗記術」 —— 181
- 繰り返しをさせない! —— 187
- まずは3冊やってみる! —— 187
- 補習としての「書写」 —— 189